

庄和地区公民館・庄和南公民館

◇運営の基本方針

地域住民の学習意欲を醸成するための学習機会を提供し、充実した人生を築くための生涯学習拠点となるよう環境を整える。また、庄和地区の連帯意識を高め、地域コミュニティづくりを進める。

◇重点施策

- 1 世代間交流と地域の連帯感を育む。
- 2 地域住民参画による自主的・自発的な事業活動を支援する。
- 3 各種団体、地域住民との協働による事業の展開を図る。

◇重点事業

- | | |
|------------|----------|
| 1 庄和地区市民大学 | 2 公民館まつり |
| 3 庄和地区体育祭 | 4 庄和南鑑賞会 |

庄和地区公民館

所在地 〒344-0116 春日部市大倉307番地1
庄和市民センター正風館内

(令和7年5月1日現在、リノベーション工事中。令和7年11月1日開館予定)

TEL 048-746-6666
FAX 048-746-6669
E-mail seifukan@city.kasukabe.lg.jp



庄和南公民館

所在地 〒344-0124 春日部市米崎357番地

TEL 048-745-3000
FAX 048-745-3002
E-mail s-nankou@city.kasukabe.lg.jp



職員

館長	(兼務)	川辺 孝	主査	(兼務)	當間 正 恵
主査	(兼務)	鈴木 格	主任	(兼務)	村田 誠
主任	(兼務)	吉田 健作	主任	(兼務)	芳池 修
主事	(兼務)	関口 菜奈加	フルタイム	(兼務)	山口 智恵子
フルタイム	(兼務)	山本 靖裕	フルタイム	(兼務)	白川 喜好
フルタイム	(兼務)	前島 浩子			

庄和地区 1

事業名 テーマ	庄和地区市民大学		対象	一般	定員	22・23期生 40名	
ねらい	地域住民に多種多様な内容の学習をする機会を提供し、地域に貢献できる人材育成を図るとともに、交友範囲を広げてもらい、より有意義な生活を送ってもらうことを目指す。						
協力機関 及び団体	庄和地区市民大学運営委員会 庄和地区市民大学学友会		特色 位置づけ	重点事業 地域で活動できる人材づくり	SDGsの 目標No.	4・11・17	
会場	庄和市民センター正風館 会議室・講義室 ほか		教材 資料等	講師持参等			
実施までの 経過	1月下旬～ 広報		PR方法	公民館だより2月号・広報かすかべ ポスター・募集要項・チラシ			
	2月17日～ 入学受付			ホームページ・入学説明会			
	5月10日 開講式		受付方法	学費を添えて正風館窓口へ申込み			
	～2月14日 講座（原則毎週金曜日）						
月日（曜）	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏名
				男 計	女 計	合計	
回数	総時間数						
5月10日（金）	13:00～16:00	開講式・オリエンテーション	説明	20	31	51	市民大学運営委員会
5月17日（金）	13:30～15:30	教育学科教養講座	講義	43	30	73	文教大学人間科学部 青山 鉄兵 准教授
5月24日（金）	8:00～16:00	科学学科宇宙・天文講座	見学	14	28	42	JAXA筑波宇宙センター
5月31日（金）	13:30～15:30	科学学科生物講座	講義	20	28	48	産業技術総合研究所 深津 武馬 主席研究員
6月7日（金）	8:30～16:30	教育科学教養講座	説明	21	28	49	市民大学運営委員会
6月14・15日（金・土）	9:00～17:00	産業・環境学科	体験	16	17	33	大滝げんきプラザ
6月21日（金）	10:00～14:00	芸術学科美術鑑賞講座	鑑賞	18	27	45	サンパール荒川
6月28日（金）	13:00～17:00	教育学科ディベート講座 1	講義	20	28	48	文教大学人間科学部 青山 鉄兵 准教授
7月5日（金）	13:30～15:30	教育学科ディベート講座 2	講義	20	27	47	文教大学人間科学部 青山 鉄兵 准教授
7月12日（金）	13:30～15:30	教育学科ディベート講座 3	説明	17	52	69	文教大学人間科学部 青山 鉄兵 准教授
7月19日（金）	13:30～15:30	教育科学教養講座	講義	20	30	50	市民大学運営委員会
7月26日（金）	13:30～15:30	教育学科ディベート講座 4	討論	40	60	100	文教大学人間科学部 青山 鉄兵 准教授
8月2日（金）	13:30～15:30	教育科学教養講座	説明・見学	20	22	42	春日部市 新庁舎
9月6日（金）	13:00～16:00	科学学科気象講座	講義	30	20	50	筑波大学計算科学センター 日下 博幸 教授
9月13日（金）	13:00～16:00	社会学科政治・司法講座	見学	30	21	51	国会議事堂・憲政記念館
9月27日（金）	13:00～16:00	教育科学教養講座（埼玉県出前講座）	講義	17	33	50	埼玉県
10月4日（金）	13:00～16:00	科学学科化学講座	講義	23	26	49	宇都宮大学 稲川 有徳 教授
10月11日（金）	8:30～10:30	生活学科ボランティア講座	体験	19	22	41	NPO法人庄和ふる里を守る会 道の駅庄和
10月18日（金）	13:30～16:00	教育学科教養講座	講義	21	28	49	東洋大学 三宅 和子 名誉教授
10月25日（金）	13:30～16:00	芸術学科美術鑑賞講座	鑑賞	20	27	47	すみだトリフォニーホール
11月1日（金）	13:00～16:30	教育学科教養講座	講義	21	27	48	内山 政勝 氏
11月8日（金）	13:00～16:30	芸術学科美術鑑賞講座	鑑賞	16	28	44	日展・事務局 国立美術館
11月15日（金）	13:00～16:30	社会学科社会学講座	講義	20	28	48	JICA 松本 淳一郎 氏
11月22日（金）	13:00～16:30	社会学科社会学講座	講義	20	30	50	宇都宮共和大学 陣内 雄次 教授
11月29日（金）	13:00～16:30	健康学科スポーツ一般講座	体験	19	28	47	ユニカール同好会 庄和体育館
12月6日（金）	13:00～16:30	教育学科人権教育講座	説明	21	29	50	春日部市社会教育部
12月13日（金）	13:00～16:30	社会学科郷土史講座	説明	20	29	49	郷土資料館 鬼塚 和典 主幹
12月20日（金）	13:00～16:30	教育学科教養講座	講義	30	38	68	文教大学人間科学部 宮田 浩二
1月17日（金）	13:00～16:30	教育学科教養講座	発表	20	24	44	市民大学運営委員会
1月24日（金）	13:00～16:30	健康学科健康一般講座	講義	20	25	45	埼玉県立大学 久保田 章仁 准教授
1月31日（金）	13:00～16:30	教育学科教養講座	発表	40	44	84	市民大学運営委員会
2月14日（金）	13:00～17:00	教育学科教養講座	発表	40	44	84	文教大学人間科学部 青山 鉄兵 准教授
32回	118時間			736	959	1,695	
企画運営上の工夫	学生同士が積極的にコミュニケーションできるよう、ホームルームを実施した。県の出前講座などを活用し、低コストによる事業運営を図りながら、大学教授を講師に起用し、幅広い知識の習得を目指すカリキュラムとした。						
成果参加者の声など	感染症対策も不要となり、従来通りのコミュニケーションが活発な市民大学を開催することができた。参加者は「とてもやりがいを感じ、充実した内容であった」、「班ごとのコミュニケーションもできて良かった」など好評でした。						
課題と展望	次年度も運営委員の皆様と協力し、事業を円滑に運営していきたい。						

事業名 テーマ	2024庄和地区公民館まつり		対象	一般	定員	各部屋の 定員	
ねらい	日頃、活動している団体・個人が、その活動の成果を広く地域の方々に鑑賞してもらい生涯学習の推進と交流を図り、活動成果の発表の機会、サークルと地域の方との交流の機会、活動に新しく参加する人を期待する機会を来場された市民の方々に理解していただくことで、公民館活動の一層の発展を期す。						
協力機関 及び団体	庄和地区公民館まつり実行委員会		特色 位置づけ	重点事業	SDGs の目 標No	4. 11. 17	
会場	庄和市民センター正風館 全館		教材 資料等	まつりプログラム 参加団体・個人の作品			
実施ま での経 過	12月13日	準備会会議 第1回実行委員会 参加団体募集 第2回実行委員会 第1回参加団体説明会 第3回実行委員会 第2回参加団体説明会 舞台団体リハーサル 前日準備 開催日(1日目) 開催日(2日目) 第4回実行委員会	PR方法	ポスター・チラシ 公民館だより(4、6月号) 安心安全情報メール LINE X(旧Twitter)			
	1月12日			受付方法	2月1日～2月29日までに庄和地区公 民館(正風館)窓口にて申込み。 参加料2,000円は第1回参加団体説明 会の時にお預かりする。		
2月1日～29日	PR方法						
3月22日			受付方法				
4月13日	PR方法						
5月10日			受付方法				
5月18日	PR方法						
6月4日～6日			受付方法				
6月7日	PR方法						
6月8日			受付方法				
6月9日	PR方法						
7月5日			受付方法				
月日(曜)	時間			内 容	方法	参加者	
回数	総時間数		男			女	合計
			計	計		氏 名	
6月8日(土)	9:00～16:30	公民館まつり 1日目	734	1645	2379		実行委員会
6月9日(日)	9:00～16:30	公民館まつり 2日目	355	714	1069		
2回	14時間		鑑賞 ・ 観覧				
			1089	2359	3448		
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会を中心とした参加団体による自主運営。 ・参加団体募集では正風館、庄和南公民館、南桜井駅、庄和総合支所にポスターを掲示するほか、昨年度参加団体に積極的に声掛けをし、参加団体を募集した。 ・敷地内にのぼり旗を設置し、周知した。 ・入口にバルーンアーチを設置いただいたところ、とても好評だった。 ・庄和地区内の小中学校に声掛けをし中野小学校、川辺小学校は作品展示、葛飾中学校、飯沼中学校はロビーにて吹奏楽部の演奏をした。 ・埼玉県立庄和高等学校から合唱部、美術部を招待した。 ・館内入口に希望制で各参加団体のポスターを貼った。 						
成果 参加者の 声など	全41団体が参加。来場者数が昨年と比べ大幅に増加した。また、去年は行っていないロビーでの中学校吹奏楽部の演奏が大いに盛り上がった。「お客さんもとても多く、とても楽しく踊ることができた」、「いろいろな展示を見られて満足」等のご意見をいただいた。						
課題と展望	来年度の実施についてはリノベーション工事後の開催となるので、実施時期や準備を検討する必要がある。今後も参加者、来場者の方が楽しめるよう計画していきたい。						

庄和地区 3

事業名 テーマ	令和6年度春日部市民体育祭 庄和地区体育祭		対象	地区住民		定員	種目ごと
ねらい	地域住民の交流・親睦を深めるとともに、体力向上による健康増進を図る。						
協力機関 及び団体	春日部市・庄和地区自治会連合会 春日部市コミュニティ推進協議会 庄和地区体育祭実行委員会		特色 位置づけ	重点事業		SDGs の目 標No.	3・17
会場	庄和総合公園多目的広場		教材 資料等	プログラム 各競技参加者に賞品			
実施ま での経 過	6月15日	第1回実行委員会 第2回実行委員会 公民館だよりにて広報 区対抗種目説明会及び抽選 会	P R 方法	ポスター・チラシ 公民館ブログ 公民館だより（8月号・10月号）			
	7月27日 8月1日 8月24日 " " 9月21日 " " 10月1日 10月12日 10月13日 11月16日			第3回実行委員会 第4回実行委員会 競技役員全体説明会 公民館だよりにて広報 体育祭前日準備 体育祭当日 第5回実行委員会	受付方法	区対抗種目及び団体対抗種目 は、事前に各団体でとりまとめ のうえ受付。 自由参加種目については、当日 受付。	
月日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男	女	合計	
			計	計			
10月13日（日）	9:00～15:00	9:00 開会式 9:30 競技開始 13:00 閉会式 13:30 片付け・開始 15:00 片付け・終了	競技	1,000	1,000	2,000	
1回	6時間00分			2000	2000		
企画運営上 の工夫	<p>①庄和地区体育祭実行委員会は庄和地区自治会連合会・庄和地区スポーツ推進委員・庄和地区小中学校長会・スポーツ団体の代表を実行委員として構成し運営した。</p> <p>②区対抗種目抽選会・競技説明会や競技役員全体説明会などを行い、体育祭での役割分担を説明し、地域コミュニティの推進を図り、円滑な体育祭開催の準備・運営に努めた。</p> <p>③庄和商工会の協力によりキッチンカーとコラボし、来場者に喜んでもらえることができ、集客を図ることができた。</p> <p>④競技内容について検討をし、新競技「ビンゴ輪投げ」「めざせ！！ホールインワン」を実施したが、こどもから大人まで楽しんでもらえる競技となった。</p> <p>⑤少年・少女リレーの参加条件を小中学校単位で参加できるように変更したため、参加チームが増え、盛り上がるようになった。</p>						
成果 参加者の 声など	今回のプログラムにおいて、いかにして多くの参加者を集めるかを検討したが、小中学校のリレーの参加をお願いしたことにより、小中学生が自由競技への参加増にもつながり、盛り上がった体育祭となった。						
課題と展望	参加する地区・自治会の増加を図るために次年度以降も競技種目や開催方法について、さらなる工夫を検討する必要がある。						

事業名 テーマ	井戸端サロン		対象	おおむね50歳以上の方		定員	15名～20名程度	
ねらい	定期的に開催し、高齢者の居場所づくり、仲間づくりを進める。							
協力機関 及び団体	井戸端サロンふれあい隊		特色 位置づけ	高齢者コミュニティカフェ事業		SDGs の目標 No.	3・4・17	
会場	庄和市民センター正風館 多目的室 庄和総合支所 101、102会議室		教材 資料等	講師持参				
実施までの経過	3月下旬	井戸端サロンふれあい 隊と打ち合わせ 順次実施 公民館だより掲載	PR方法	公民館だより掲載 ポスター掲示・チラシ配架				
	4月1日から 偶数月		受付方法	事前受付または当日受付				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男	女	合計		
				計	計	合計		
4月8日(月)	10:00～11:30	花見(庄和総合公園)	散策	1	17	18		
4月22日(月)	10:00～11:30		懇談会	1	17	18		
5月13日(月)	10:00～11:30		端午の節句	懇談会	1	12		13
5月27日(月)	10:00～11:30			懇談会	1	13		14
6月10日(月)	9:00～12:00	バスで行く 造幣さいたま博物館ツアー	散策	1	13	14		
6月24日(月)	10:00～11:30	お散歩(庄和総合公園)	懇談会	1	15	16		
7月8日(月)	10:00～12:00		懇談会	1	15	16		
7月22日(月)	10:00～12:00		懇談会	1	13	14		
8月26日(月)	10:00～11:30		懇談会	1	14	15		
9月23日(月)	10:00～11:30		懇談会	1	13	14		
10月28日(月)	9:00～12:00		懇談会	2	18	20		
11月11日(月)	10:00～11:30		散策	1	8	9		
11月25日(月)	10:00～11:30	懇談会	1	15	16			
12月9日(月)	10:00～11:30	懇談会	1	13	14			
12月23日(月)	10:00～11:30	懇談会	1	12	13			
1月27日(月)	10:00～11:30	懇談会	1	13	14			
2月10日(月)	10:00～11:30	懇談会	1	18	19			
3月10日(月)	10:00～11:30	懇談会	1	20	21			
3月24日(月)	9:00～12:00	防犯対策セミナー	懇談会	1	16	17		
19回	33時間00分			20	275	295		
企画運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 井戸端サロンふれあい隊と共に企画運営を実施した。 地域の高齢者に様々な学習機会の場を提供すると共に参加者同士の交流を図った。 正風館工事のため、10月からは庄和総合支所で実施した。 参加者の要望から防犯対策セミナーを実施した。 							
成果 参加者の声など	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が興味関心のある講座を実施した。 年間通して事業を実施することができた。 							
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> 今後もふれあい隊と協力しながら、事業を継続する。 新規の参加を促していく。 							

庄和地区 5

事業名 テーマ	子育てサロン「親子のひろば」		対象	0～5歳児とその保護者		定員	内容ごと	
ねらい	すべての保護者が、安心して子育てや家庭教育を行えるよう学習機会や相談の場を提供する。							
協力機関 及び団体	春日部地区更生保護女性会庄和地区		特色 位置づけ	家庭教育の充実		SDGs の目 標No	4.17	
会場	庄和市民センター正風館 和室等 庄和南公民館 和室等		教材 資料等	講師持参 他				
実施ま での経 過	随時 春日部地区更生保護女性会庄 和地区と打合せ		PR方法	庄和地区公民館だより掲載 安心安全情報メール配信 SNS掲示、チラシ配布				
	随時 講師と打ち合わせ 隔月 公民館だよりに掲載			受付方法	電話または直接窓口で事前申込み			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男	女	合計		
5月16日(木)	10:00～11:30	お楽しみ会	実技	6	10	16	庄和図書館スタッフ 栗岡 一矛・西村 範子	
7月18日(木)	10:00～11:30	乳幼児救急救命講座	実技	7	14	21	消防本部警防課職員	
9月12日(木)	10:00～11:30	歌ってあそぼう!	実技	6	10	16	山田 優子	
11月21日(木)	10:00～11:30	ちょっぴり早いクリスマス	実技	9	23	32	庄和図書館スタッフ2名 栗岡 一矛・西村 範子	
1月23日(木)	10:00～11:30	歌にあわせてジャンプ! 	実技	4	6	10	山田 優子・山森 澄子	
5回	7時間30分			32	63	95		
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的参加を期待して奇数月に開催し、全5回の開催とした。 ・更生保護女性会に講座の企画運営、託児、広報の協力を依頼した。 ・地区内で活動している幼児教育に見識のある講師を招聘した。 ・参加型の内容とし参加者相互の交流を促した。 							
成果 参加者の 声など	参加者からは、「子どもが楽しんで楽器をならしてあそんでました。(5月16日講座)」「実際にAEDや人形をつかって練習ができて勉強になりました。(7月18日講座)」、「手遊びをたくさんやっていただき楽しかった。(9月12日講座)」、「子供がひきつけられるもの(楽器・おもちゃ)も沢山あった。(11月21日講座)」、「手遊びや歌がたくさんあり、親子で楽しめました。(1月23日講座)」などの感想をいただくことが出来た。							
課題と展望	各回の講座で高い満足度を得られている。昨年度の課題であったリピーター参加者の増加は実現することが出来た。しかし子育てコミュニティの構築には至っていない。来年度以降は公民館利用者との連携、他課との連携等これまでとは違った方法も考えていく必要がある。							

事業名 テーマ	しょうわ塾 ①「挑戦しませんか！バルーンアート」 ②「星空教室」		対象	①成人一般 ②小学校高学年以上（保護者つきそい）	定員	①18人 ②27人	
ねらい	生涯学習市民推進員との共催で実施する。地域における生涯学習の推進を図るために、地域住民に多様な学習機会を提供するとともに新たなる事業内容や学習方法などを開発する。						
協力機関 及び団体	生涯学習市民推進員		特色 位置づけ	成人の学習機 会の充実 多様な学習機 会の提供	SDG'Sの 目標No	3・4・ 11・17	
会場	①正風館 講義室1.2 ②飯沼中学校		教材 資料等	①レジュメ ②レジュメ			
実施ま での経 過	①7月上旬 8月1日 ②9月上旬 10月1日	①打ち合わせ 公民館だより発行 ②打ち合わせ 公民館だより発行	PR方法	①公民館だより8月号 ②公民館だより10月号 その他毎回ポスター・チラシ配 架など			
			受付方法	①9/3～電話または窓口で受け付け ②11/10～電話または窓口で受け付け			
月日（曜）	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男	女	合計	
9月29日（日）	10:00～12:00	バルーンを使って動物 や剣などをつくる	講義 体験	4	14	18	関根恵子、安藤茂 雄
12月16日（土）	17:00～16:30	天体や星座に関する講 座	講義	9	18	27	長谷川 清一
2回	3時間30分			13	32	45	
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習市民推進員と共に企画運営を行う。 ・庄和地区の講師を依頼する。 ・普段より活動している愛好会に講師となってもらい、地域住民の交流と健康増進を期待する。 ・講話だけではなく、星座早見盤の使い方や月球儀を用いて、星空観察の仕方の解説なども行った。 						
成果 参加者の 声など	<p>①初心者から経験者の方まで幅広い参加者がいた。「100円で本当に楽しかった」、「とても楽しかった」、「孫に作ってあげたい。孫と一緒に作れる」、「また機会があったらお願いします」など満足いただけた感想であった。</p> <p>②「幼児も参加出来るから参加した」、「子どもとの思い出にしたかったから」などの動機で参加した方がいた。感想は「屋外での観察が出来て良かった」、「土星の環ががついているのが面白かった」、「次回も参加したい」などの声をいただけることが出来た。</p>						
課題と展望	<p>①今後も生涯学習市民推進員と協力しながら、学習機会を提供していきたい。</p> <p>②昨年度は、天候の都合で屋外での観察はできなかったが、今年度は実際に星を見ることが出来て、満足度が上がった。</p>						

庄和地区 7

事業名 テーマ	教養講座「スポレクと音楽レクで心も体も健康に！」		対象	一般	定員	30名	
ねらい	楽しさを通して心と体の元気づくりで健康長寿を延して「いきいき百歳」を目標とする						
協力機関 及び団体	大風文化交流センター ハルカイト		特色 位置づけ	健康推進事業	SDGs の目 標No	4・17	
会場	大風文化交流センター ハルカイト 大会議室		教材 資料等	講師持参			
実施ま での経 過	6月 2月1日 2月4日～ 3月5日	講師団体と打ち合わせ 公民館だより2月号掲載 講座受付開始 講座実施	PR方法	公民館だより2月号 ポスター、チラシ配架			
			受付方法	2月4日（火）から正風館仮事務室窓 口または電話で受け			
月日（曜）	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
3月5日（水）	10:00～12:00	スポレクと音楽レクで 心も体も健康に！ 	体験	0	17	17	日本レクリエーション協会公認指導者 埼玉県レクリエーション協会指導専門 委員会委員 山森 澄子
1回	2時間			0	17	17	
企画運営上 の工夫	正風館が改修工事中のため、大風文化センター ハルカイトの施設を借用。参加者が互いに交流できるようなプログラムとする 庄和地区内の公共施設、駅にポスターの掲示、チラシの配架を行う。 上履き、飲み物は参加者持参とする。						
成果 参加者の 声など	当初22名の参加者数であったが、雪のためか欠席があり、当日の参加者は17名となった（当日、急遽の参加が1名）。アンケートは「リピーターですが、終わると心も身体もスッキリして、本当に楽しい」や「ボッチャなど、初めての体験が楽しかった」など体験を喜ぶ声が多かった。感想も、満足、やや満足、やや不満、不満の中、17名中全員が「満足」であった。						
課題と展望	昨年度は正風館が会場であったが、今年度は正風館が工事中のため、会場が「大風文化交流センター ハルカイト」となった。結果として、庄和地区北部地域（ハルカイトの場所）在住の市民へ向けた事業とすることができた。来年度も会場についてはハルカイトで実施することも検討していく。						

庄和地区 9

事業名 テーマ	利用者のつどい		対象	公民館利用者	定員	定めず	
ねらい	公民館の役割や規則を理解していただき、有意義で円滑な公民館の利用方法を浸透させる。また、利用者との意見交換が出来る場を提供し、利用者同士の交流を図る						
協力機関 及び団体			特色 位置づけ	市民の声を生かす仕組みづくり			
会場	庄和南公民館 1階 多目的ホール		教材 資料等	会議資料	SDGs の目 標No	4, 11	
実施ま での経 過	12月1日(日) 公民館だより12月号掲 載、 12月13日(金)～ ポスター掲示、利用者団 体へチラシ配布、参加団 体募集開始 2月2日(日) 当日(準備を含む)		PR方法	公民館だより12月号 ポスター掲示 利用団体へチラシを配布			
			受付方法	12月13日(金)から令和7年2月1 日(土)までに窓口または電話 で受付			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
2月2日(日)	10:32~11:	<ul style="list-style-type: none"> 公民館の利用について 公民館利用団体票について 公民館へのご意見・ご要望について 意見交換 	説明 説明 説明 意見交換	8	24	32	公民館職員 公民館職員 公民館職員 公民館職員・参加者
1回	38分			8	24	32	
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 参加人数を把握するため、参加団体を事前申込制にする 公民館利用団体へ利用の仕方と今後の予定を再確認した ポスター掲示や日々の利用団体へチラシを配布し、これから利用する人や利用団体へ開催の広報に努める 人権研修会と同時に開催する 						
成果 参加者の 声など	32名が参加した。公民館利用者の皆さんが改めて、施設の利用方法等について再確認できるよい機会となった。						
課題と展望	今後も利用者と公民館側との意見交換ができる場として提供していきたい また、たくさんの利用者に参加してもらえよう検討をしていきたい						

事業名 テーマ	人権教育研修会		対象	公民館利用者	定員	定めず
ねらい	人権問題について学習し、正しい理解と認識を深めることを目的とする					
協力機関 及び団体			特色 位置づけ	学習課題に対応した事業の展開 (人権)		
会場	庄和南公民館 1階 多目的ホール		教材 資料等	人権啓発DVD 「それぞれの立場 それぞれのきもち 職場のダイバーシ ティと人権」	SDGsの 目標No	4、10、 11、16
実施ま での経 過	12月1日(日) 公民館だより12月号掲載、 ポスター掲示, 利用者団体 へチラシ配布		PR方法	公民館だより12月号 ポスター掲示 利用団体へチラシを配布		
	12月13日(金)～ 2月2日(日) 参加団体募集開始 当日(準備を含む)		受付方法	12月13日(金)から令和7年2月1 日(土)までに窓口または電話 で受付		
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男	女	
2月2日(日)	10:00～10:32	人権教育研修 人権啓発DVD 「それぞれの立場 それ ぞれのきもち 職場のダ イバーシティと人権」	鑑賞	8	24	32
1回	32分			8	24	32
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・参加人数を把握するため、参加団体を事前申込制にする ・人権啓発DVDを上映し、人権についての理解を深める ・ポスター掲示や日々の利用団体へチラシを配布し、これから利用する人や利用団体へ開催の広報に努める ・参加者には人権啓発品を配布する ・利用者のつどいと同時に開催する 					
成果 参加者の 声など	32名が参加した。インターネットによる人権侵害等の差別問題を取り上げたDVDを上映した					
課題と展望	今後も人権についての正しい知識を学び、身近な問題であることを理解してもらうことで、さらなる啓発に努めたい					



事業名 テーマ	ステップアップギャラリー		対象	一般	定員	36点	
ねらい	階段ギャラリーを活用し、公民館利用団体の学習成果を発表する場を提供する。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ	学習成果の発表	SDGs の目 標No.	4.11		
会場	庄和市民センター正風館階段		教材 資料等				
実施ま での経 過	R5年12月	公民館だよりにて次年度 展示希望者を募集	PR方法	庄和地区公民館だより掲載			
	R6年4月～ R7年8月の 偶数月	公民館だより掲載	受付方法	窓口			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男 計	女 計	合計	
回 数	総時間数						
4月	1か月間	蒼樹会				6	
5月	1か月間	水引工芸さすいクラブ				6	
6月	1か月間	精墨会				6	
7月	1か月間	精墨会				6	
8月	1か月間	個人				6	
9月	1か月間	精墨会				6	
6回	6か月					36	
企画運営上 の工夫	公民館だよりやポスター・チラシにて展示希望団体を募集する。 窓口などで積極的に呼びかけを行う。 作品名・作者名のプレートを取り付ける。 作品に照明をあてて見えやすくする。 絵画、手工芸、絵手紙など様々な種類の展示を行う。						
成 果 参加者の 声など	作品鑑賞した利用者から「素晴らしい」などの声があった。 作品鑑賞が利用者交流のきっかけとなっていた。						
課題と展望	同じ団体に何度も掲示依頼をすることがあったため、まだ参加したことのない団体に積極的に呼びかけを行っていくことが事業の盛り上げにつながると考えられる。窓口等で実践していくこととする。						

庄和地区 13

事業名 テーマ	教養講座（庄和南）		対象	事業ごとに設定	定員	事業ごとに設定	
ねらい	地域住民の声や社会情勢を鑑みて、地域住民の学習ニーズに対応したテーマを、年代に合わせて実施する。						
協力機関及び団体	①ソフトバンクイオンモール春日部店②おづつみ園尾堤宏③宝手打そば同好会④小畷宜彦	特色 位置づけ	民間事業者と連携した事業を含む	SDGs の目標N	4		
会場	①②④：学習室1・2 ③：調理室		教材 資料等	①：スマートフォンレジメ ②お茶：茶器、茶葉等 ③そば：レシピ④獅子：材料			
実施までの経過	2月・4月 5月 7月・8月 8月・9月	①講師依頼・打合せ ②講師依頼・打合せ ③講師依頼・打合せ ④講師依頼・打合せ	PR方法	公民館だよりに募集記事掲載 ポスター・チラシ			
			受付方法	各事業ごとに、先着順に、窓口 または電話で受け付け			
月日（曜）	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
10月26日（水）	14：00～16：00	スマートフォン体験 講習会	体験	4	15	19	ソフトバンク
8月24日（土）	10:00～12：00	夏休み親子教室冷たいお茶 のおいしい入れ方	実習	1	1	2	おづつみ園 尾堤 宏
11月2日（土）	9:00～12：30	手打ちそば講習会	体験	9	14	23	小谷中 三男 船塚 實
11月30日（土）	10：00～12：00	獅子舞でお正月を楽しもう	実習	6	19	25	小畷 宜彦
							
4回	9時間30分			20	49	69	
企画運営上の工夫	①民間事業者と連携、0 予算事業として、広報の二次元コード検索を体験した。 ②子供だけでなく、親子で体験することで、ご家庭で継続的に実践してもらえ る。 ③そば打ちに必要な釜や道具を活用し、利用クラブの協力を得て実施した。 ④事前に部品を作ることで、時間内に作業が終了するよう計画した。						
成果 参加者の 声など	①アンケート結果では、概ね役に立ったとする回答が得られた。 ②話が小学1年にもわかりやすく、お茶の飲み比べ、入れ方の体験ができた。 ③協力者の支援もあり、スムーズな進行と高い理解度・満足度が得られた。 ④作業もスムーズに進み、本物の獅子頭を見ることができた。						
課題と展望	①二次元コードを活用できる内容にしたい ②夏休み最後の休日開催となったため、夏休み開始直後に開催したい。 ③そば打ちに限らず、食育にも力を入れたい。 ④文化財継承事業として継続していきたい。						

事業名 テーマ	庄和南鑑賞会 「ちょっぴり早いサマーコンサート」		対象	一般	定員	100名 先着順	
ねらい	公民館利用団体の発表の機会を作るとともに、地域住民にフラメンコを体感、そして演奏を楽しんでもらい相互の交流を深める。さらに公民館を利用するきっかけを提供するものとする。						
協力機関 及び団体	なちゅ☆らる		特色 位置づけ		SDGs の目 標No	4・11	
会場	庄和南公民館 多目的ホール		教材 資料等				
実施までの経過	1月上旬 2月上旬 6月1日	出演依頼 日程・内容打ち合わせ 公民館だより6月号掲載、ポ スター掲示 LINE、メール、X配信 リハーサル・最終確認 開催当日	PR方法	ポスター・チラシ、公民館ブログ、LINE、メール、X配信、公民館だより6月号に掲載			
	6月15日 6月22日		受付方法	事前申し込み不要 当日、先着順に100名まで受付			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
6月22日(土)	13:30~15:00	ポップス・歌謡コンサート	鑑賞	50	75	125	なちゅ☆らる
							
1回	1時間30分			50	75	125	
企画運営上の工夫	当公民館の利用者が所属するバンド「なちゅらる」に出演を依頼した。コロナが5類となり、各部屋の定員数も元に戻ってから1年となるため、多くの方に来場していただけるよう定員を増やし事前の申込みを不要とした。過去の同様のコンサートのアンケートに、「一緒に歌いたかった」等のご意見があり、今回は、参加者も一緒に歌えるような場面、選曲を依頼した。						
成果参加者の声など	演歌、ポップス、歌謡曲など、幅広い年齢の方が楽しめる楽曲が中心となり、多くの方々に楽しんでいただけたようだ。来場者からは「楽しい時間をありがとうございました。」「大正琴がよかった、もっと聞きたかった」「元気ももらいました」など好評な結果が得られた。						
課題と展望	毎年、幅広い年齢の方々が楽しめるコンサートを企画していきたい。						

庄和地区 15

事業名 テーマ	展示イベント		対象	庄和南公民館 来館者	定員	定めず	
ねらい	公民館ロビーを様々な情報発信、イベントの場として活用する。						
協力機関 及び団体	なごみ会	特色 位置づけ		SDGs の目 標No	4・11		
会場	1階ロビー		教材 資料等				
実施ま での経 過		展示イベントは、ロビー利 用に制限があったため中 止した。 ガラスケース内展示の み、随時受け付けし、実 施した。	PR方法				
			受付方法	ガラスケース内展示は随時受付			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男 計	女 計	合計	
回数	総時間数						
12月10日(火) ～1月28日(火)		ガラスケース内展示 市展に入選・入賞した 陶芸作品の展示	展示				なごみ会・他
	—			—	—	—	
企画運営上 の工夫	正風館が休館中に伴い、多くの利用者がロビーで待機するため、展示イベントは中止した。但し、ロビーに常設されているガラスケースの貸し出しは行い、利用団体の作品等の発表の場として、ガラスケース内での展示を行った。						
成果 参加者の 声など	ガラスケース内展示の申し込みが1件あり、約1か月間、陶芸作品の展示を行った。						
課題と展望	ロビー使用が可能になれば、利用団体の活動成果の発表の場として、また公民館活動に興味をもってもらう機会として、ロビーを利用した作品展示を実施したい。						

事業名 テーマ	教養講座「庄和南将棋の広場」		対象	一般	定員	各回10名	
ねらい	隔週月曜を開放日とし、気軽に誰でも参加でき、将棋を学び楽しむことのできる場とする。また、出会いの場を提供することにより、共通の趣味を持たれた方たちによるサークル活動に発展することを目指す。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ		SDGs の目 標No	4・11		
会場	庄和南公民館 学習室 (2)		教材 資料等	将棋用具一式			
実施ま での経 過	前年度より継続		P R 方法	公民館だより掲載 館内にポスター・チラシで告知			
			受付方法	当日先着順10名			
月日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男 計	女 計	合計	
回 数	総時間数						
4月15日	9:00~12:00	<p>将棋の対局</p>	対局	6	0	6	
5月 6, 20	9:00~12:00			13	0	13	
6月 3, 17	9:00~12:00			15	0	15	
7月 1, 15	9:00~12:00			17	0	17	
8月 5, 19	9:00~12:00			18	0	18	
9月 2, 16	9:00~12:00			13	0	13	
11回	140時間15分			82	0	82	
企画運営上 の工夫	1年間「将棋の広場」を開催してきたが、サークル活動になることに否定的であった。6か月間延長し、サークル活動に発展させるために、公民館利用方法や申し込み方法等を理解していただけるよう支援をする。						
成果 参加者の 声など	1年間の開催で、将棋仲間ができ参加者が固定してきたため、代表者の推薦、使用料の目安、予約方法など、毎回丁寧にサポートした結果、10月から将棋のサークルを発足することとなった。						
課題と展望	成人男性の公民館利用の場を確保し、さらに今後、将棋愛好者による自主活動に発展してくれることを期待して、事業の実施と自主活動移行への働きかけを継続していきたい。						

事業名 テーマ	公民館だより「しょうわ」発行		対象	庄和地区内		定員	
ねらい	公民館事業のPRや報告、地区内社会教育団体の活動PR及び地域情報を庄和地区内の住民に提供する。						
協力機関 及び団体	庄和地区内自治会		特色 位置づけ	学習情報の提供		SDGs の目 標No	4. 11
会場							
実施ま での経 過	2ヶ月前～ 1ヶ月前～ 前月下旬 隔月1日 (偶数月)		原稿調整 作成・編集 校正・印刷 発行		PR方法		
					掲載を希望する団体は、公民館 だより掲載依頼書を前月1日まで に提出。		
月日(曜)	時間	内 容		参加者		講師・助言者の職名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	氏 名
隔月1日		発行(公民館事業の広報) 庄和地区内約13,500部配布					
6回							
企画運営上 の工夫	事業名称などのタイトルを大きく掲載し、表記の仕方を統一して見やすいレイアウトとした。また、イラストを作成している団体に声をかけてイラストを提供してもらった。						
成果 参加者の 声など	事業参加者へのアンケートから、公民館だよりを見て申し込みや来館される方が多く、地域住民の情報収集の手段となっているよう。						
課題と展望	今後も視覚的にわかりやすく、興味を持ってもらえるような紙面作成を心がけていきたい。						

事業名 テーマ	庄和地区防災・防犯のつどい		対象	庄和地区在住者	定員	—	
ねらい	災害、防犯について自分や家族・地域を守ることができるように、日頃から備えておくことの重要性を学ぶ。						
協力機関 及び団体	春日部市危機管理防災課 庄和地区自治会連合会 春日部市くらしの安全課 春日部警察署		特色 位置づけ	重点事業	SDGs の目 標No	13	
会場	庄和市民センター正風館 大風文化交流センターハルカイト 庄和総合支所		教材 資料等				
実施ま での経 過	8月下旬 危機管理防災課との打合 せ 9月28日(土) 庄和市民センター正風館 避難所開設訓練 11月16日(土) 前日準備 11月17日(日) 5区合同防災訓練 3月5日(水) 庄和地区防犯講話		PR方法	HP掲載 来館者への声かけ			
			受付方法	庄和市民センター正風館へ直接 または電話で申込み			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
9月28日(土)	10:00~12:00	避難所開設訓練	実技	10	5	15	危機管理防災課職員
11月17日(日)	10:00~12:00	5区合同防災訓練	実技	74	74	148	危機管理防災課職員
3月5日(水)	10:30~12:00	庄和地区防犯講話	講義	7	4	11	春日部警察署職員 くらしの安全課職員
3回	5時間30分			91	83	174	
企画運営上 の工夫	災害時等で避難所になることから、有事の際の避難所の設置、受付、避難誘導、簡易ベッド・間仕切り等の組立を実際に体験することで、有事の際に速やかな対応が取れるようにする。						
成果 参加者の 声など	防災2回、防犯1回の事業を実施した。参加者から満足の声を多く「実際の能登地震の様子を聴けたのは勉強になった」「簡易ベッドの組立を実際に行い学びが多かった」「防犯職員の説明が分かりやすかった」との意見を聞くことができた。						
課題と展望	PR方法、開催時期についてよりよい実施方法、自治会・他課との協力を考慮しながら、今後も実施していく。						